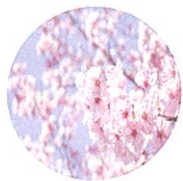


# 吉野東が 大好きだ プラン



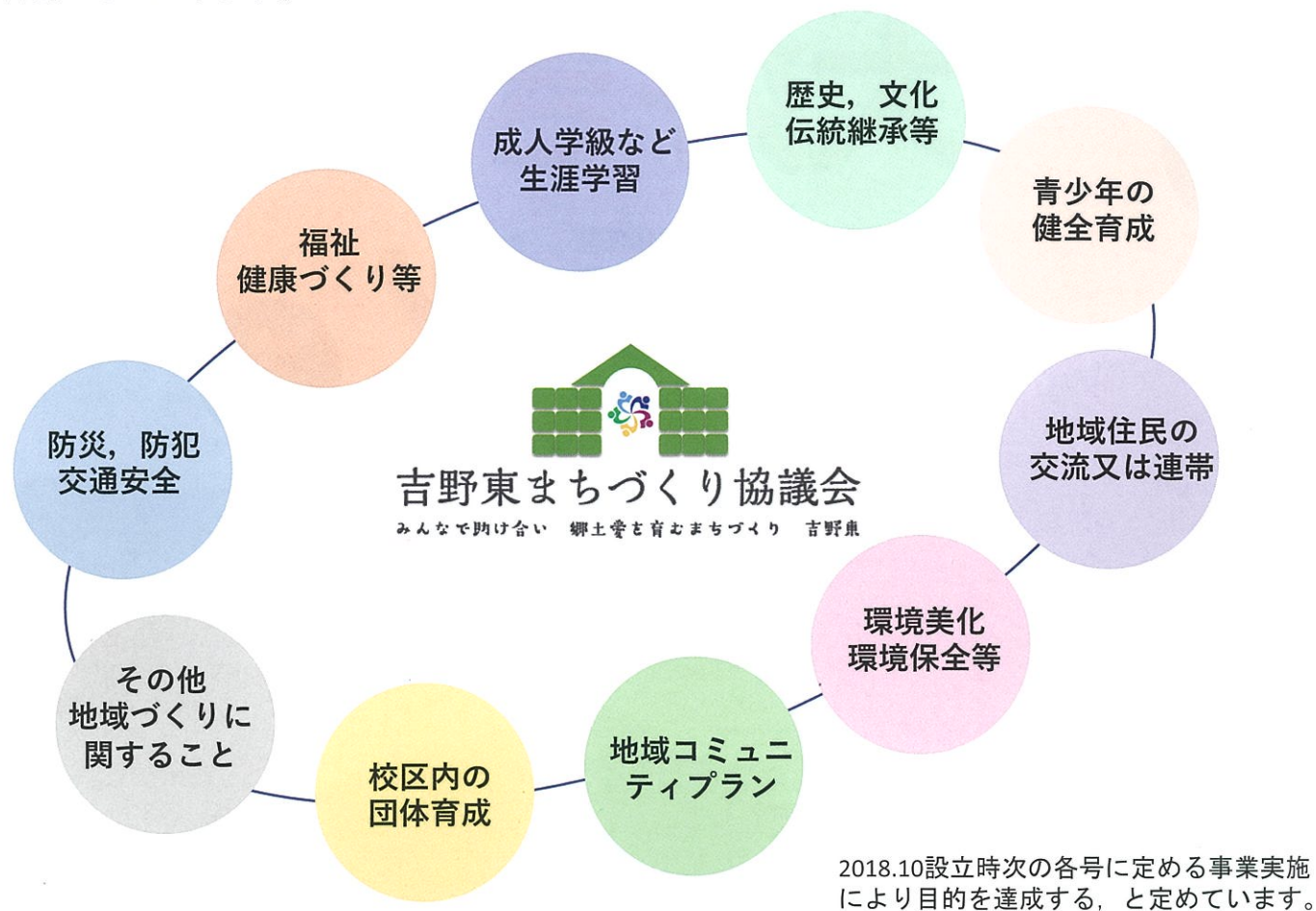
コミュニティプラン

2020年～2024年

吉野東まちづくり協議会

# まちづくり協議会とは？

吉野東まちづくり協議会とは、吉野東小学校区における身近な課題の解決や、地域資源を生かした活動など地域主体のまちづくりに取り組み、連帯感と活力に満ちあふれた地域社会づくりに資することを目的としております。



# あいさつ (策定趣旨)



吉野東まちづくり協議会  
会長 櫻井 道廣

新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延により令和2年4月緊急事態宣言が出され、県内学校の休校措置や県境をまたいだ移動の回避、不要不急の帰省や旅行を控えるなど予想だにしない要請や報道がなされている日々です。また、2020年度はスポーツ祭典の記憶に残る1年になると思いきや、東京オリンピックは1年延期、夏の甲子園が中止決定するなど国民生活にも大きな影響が出ています。「新しい生活様式」の定着は感染拡大防止と社会経済維持を両立させる方策であり、今後まちづくりの活動を展開するうえでも3密防止や適切な行動が求められます。コロナ禍の一日でも早い終息を願います。

改めまして日頃より、吉野東校区地域みなさまのご理解とご協力、関係団体各位のご尽力により日々安寧な暮らしに努めていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨今、各家庭では少子高齢化や核家族化が急速に進む中、ライフスタイルや価値観も多様化し地域活動への参加率低下、強いては町内会未加入世帯の増加など、地域の絆も弱まりつつある現状が危惧されております。

また校区における重要課題として、安全安心なまちづくり、高齢者・児童の見守りなど行政の力だけに頼るのではなく、地域住民同士のつながりや助け合いの精神など、先達の方に倣い継続・発展させなくてはなりません。

そこで地域コミュニティが果たす役割はますます重要となり2018年10月、町内会、学校、地域、各団体等が手を携え活力ある豊かな地域づくりを推進することを目的に吉野東まちづくり協議会を設立しました。

これからの向こう5年間、協議会が中心となり地域のみなさまと一緒に取り組んでいく礎「コミュニティプラン(吉野東が大好きだプラン)」を作成しました。このプランは描くだけではなく実践することが第一です。

吉野東校区が今まで以上に活力あり、そして豊かな地域になるよう、みなさまと共に手と手を携え助け合い、一步一步前進していきたいと思っております。

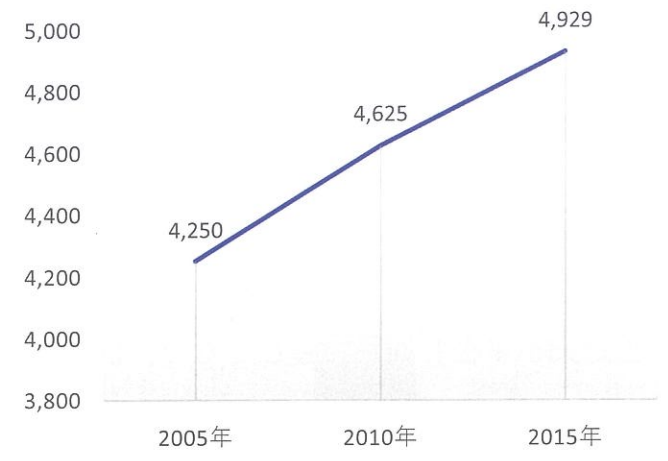
# 目次

まちづくり協議会とは	P.1
あいさつ (策定趣旨)	P.2
吉野東校区の概況	P.3
吉野東校区の歴史と概要	P.5
吉野東クロスワードパズル	P.6
町内会紹介	P.7
吉野台地の地形と地質	P.9
文化財の紹介	P.11
組織図	P.15
構成団体一覧	P.16
協議会・部会の現状と課題及び目標と計画	P.17
住民インタビュー	P.21

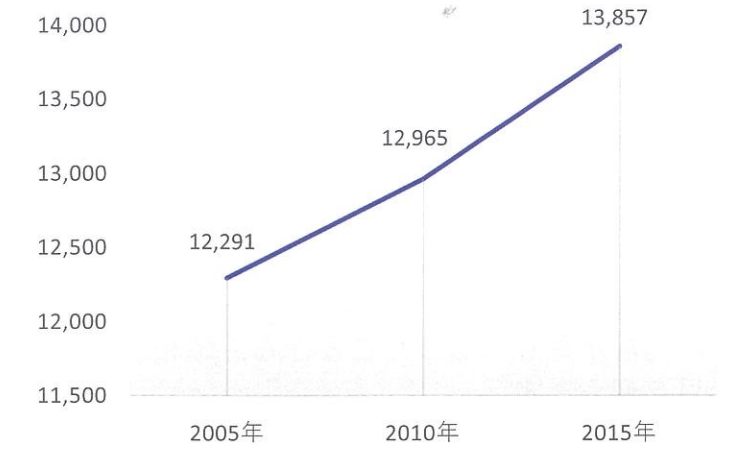
# 吉野東校区の概況



吉野東校区の世帯数の推移



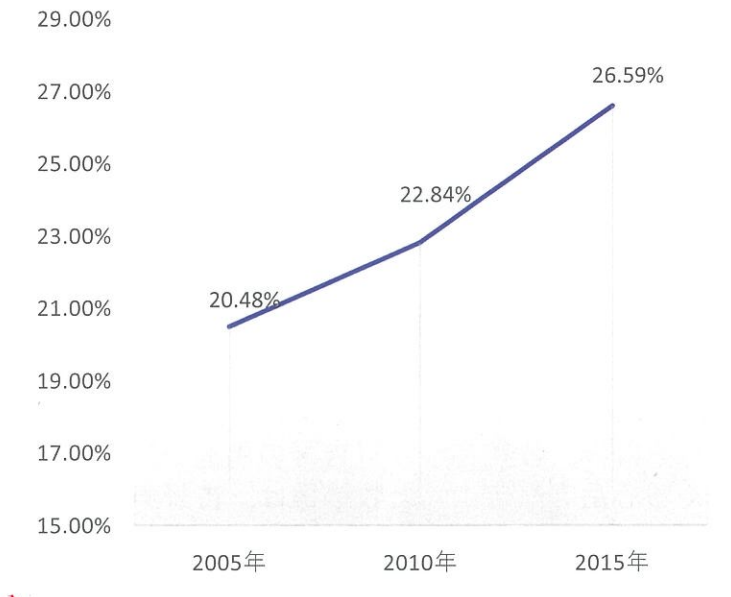
吉野東校区の人口の推移



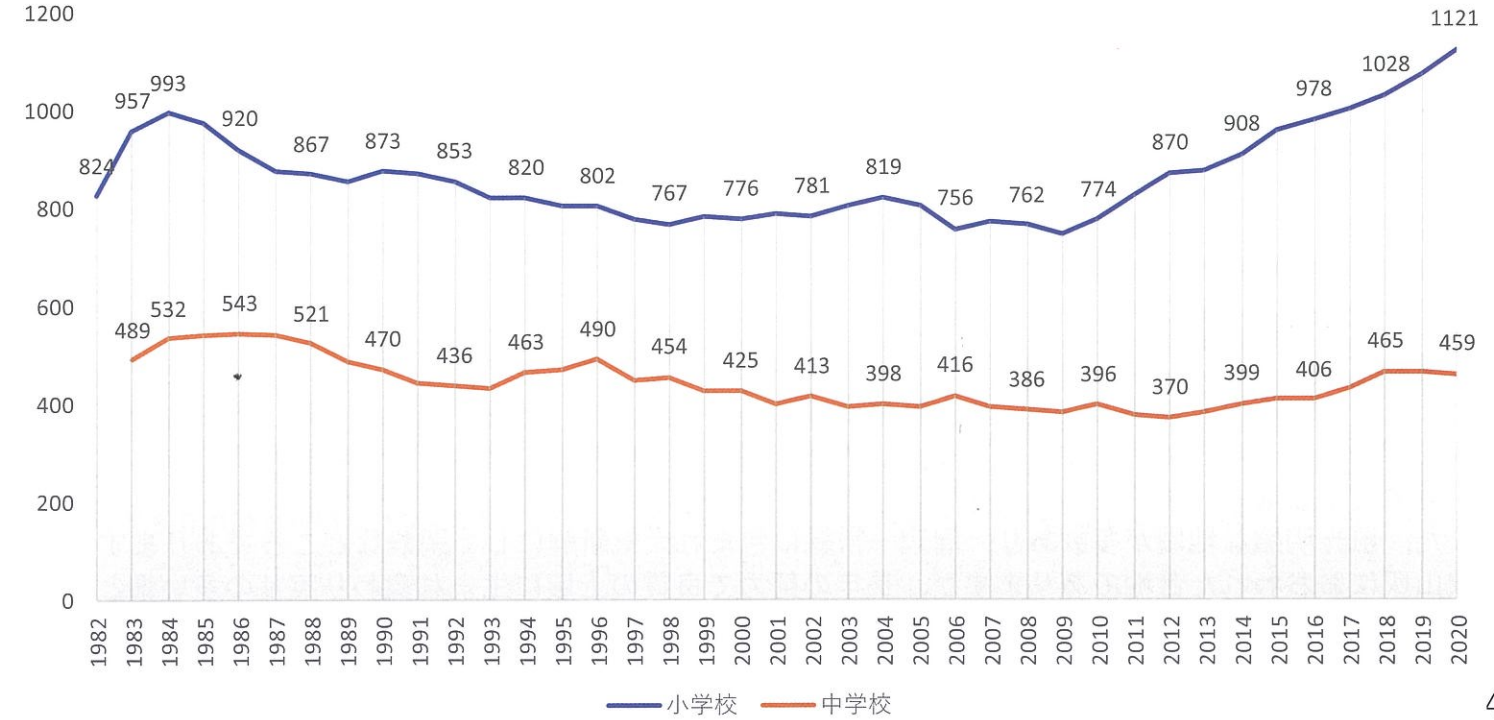
吉野東校区年齢別人口の推移



吉野東校区高齢化率



吉野東小・中学校児童生徒数推移



## 01 校区の概要

本校区は鹿児島市の北東に位置し、市街地から約9kmの標高200～300mの火山灰台地にあります。高度経済成長に伴い人口の都市集中化により、閑静で田園風景にあふれた吉野台地も宅地造成が進み、住宅団地が急増しました。そのため、吉野小学校の児童数は増え、昭和50年代初めには、2,000人を越し、適正な学校経営が難しくなったことから、昭和56年4月6日に「吉野東小学校」開設の運びとなり、開校して40年目を迎えます。

校区は、開校当時5つの町内会（西菖蒲谷・東菖蒲谷・中別府・上之原・平原団地）からなっていましたが、昭和58年4月、吉野東中学校の新設に伴う学校区変更により、新しく中ノ町・七社・吉野台団地の3町内会が加わり、8町内会となりました。校区民は大部分が以前からの住民ですが、近年、他の地域から転入する人が増えてきています。

学校近くには、西郷隆盛が郷土に帰り、80余名の青年たちと寝食を共にしながら開墾に励んだ「開墾社」跡地もあり、史と景観に恵まれた校区であります。

## 02 歴史的環境

吉野は、歴史的には、戦国時代（弘治元年・1555年）の本に「良野」という呼び名で初めて見られる地名です。

江戸時代は、「鹿児島城下の吉野村」と呼ばれていました。この吉野村一帯は島津家の土地であり、牧場として500頭もの馬が放牧されていたとのこと。牧場は、牟礼ヶ岡を中心に吉野や重富まで広がり、ペルシャ馬や百済馬を導入し、名馬を数多く生産したことで知られています。

江戸時代の若者たちは、「チェスト、関ヶ原」の気概を持ち続けているため、質素と勇敢さを誇りにして遠行を好み、牧神様参り（吉野の馬追い）も、その遠行の一つとして行われました。大石兵六夢物語に出てくる心岳寺（寺山）と牧神様は、吉野東校区と関係深いところでもあります。

菖蒲谷は、江戸時代、実方から白銀坂を通り細島（宮崎）へ出ていく東目回りの交通の要所だったといわれています。現在も鳥越トンネル上から九州縦貫道（吉田入口）までをつなぐ県道本名・鹿児島線は、生活幹線で交通量の多いところ。です。

教育の面では、嘉永年間末期（1853年）、斉彬公によって「聖堂分校」が創立され、のちの帯迫分校と合併され第12郷校（明治4年）となりました。近辺の子弟はここに通い、勉学に励んだということです。その中から、桐野利秋・別府晋介・川上操六等が生まれ育ち、近代日本の黎明期に活躍しました。

また、私学校と並び称される「開墾社」がつくられ、南洲翁と若い生徒が鋤を持ち、馬を引き、勉学にいそしみました。特にこの「開墾社」の壁面に南洲翁の揮毫された、陳龍川（南宋の儒学者）の語「推倒一世之智勇 開拓萬古之心胸（一世の智勇を推倒し、萬古の心胸を開拓す）」は、実に有名です。このような南洲翁とかかわりのある遺跡も多く残されています。

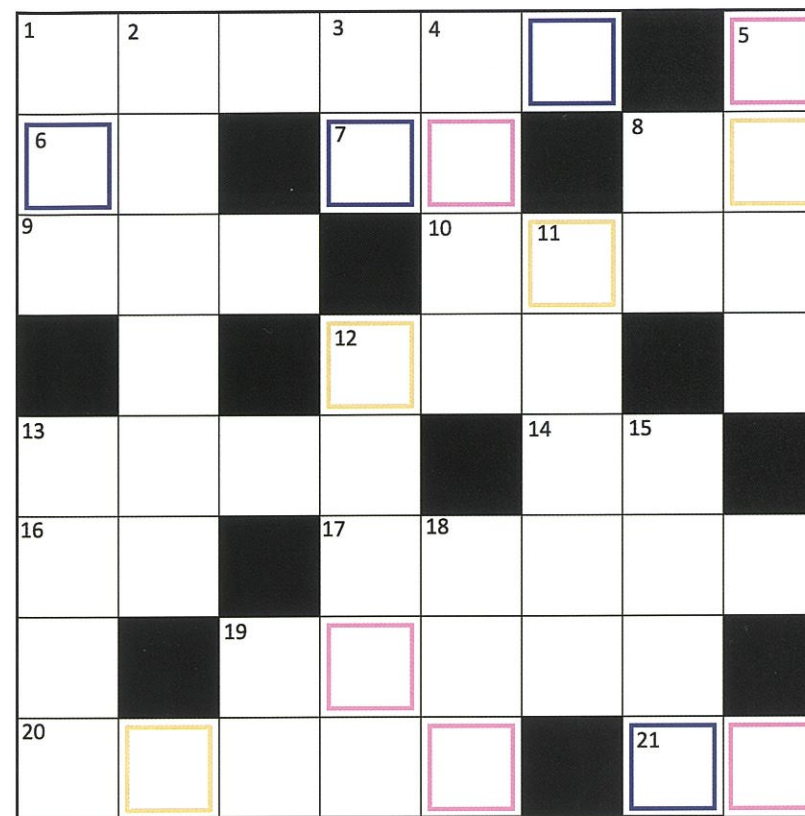
## 03 地理的環境

雄大な吉野台地の北東部に位置する吉野東には、県立吉野公園、市立少年自然の家・寺山公園があり、市民の憩いの場となっています。さらに、この諸施設は、小中学校の諸教育活動に取り入れられおおいに利用されています。

また、風光明媚な地域が多数あり、周辺一帯緑に包まれ大気新鮮にして閑静なところでもあります。

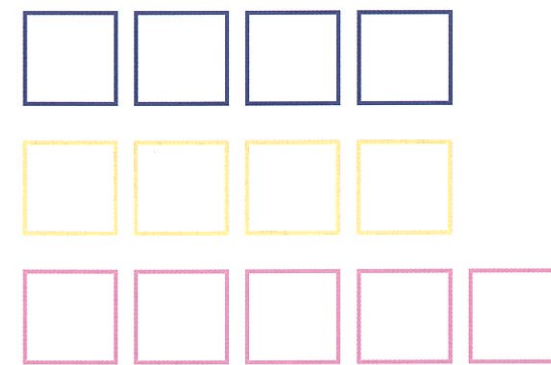
火山灰におおわれた台地ではありますが、長年の努力で良質の土壌に生まれ変わり実りの多い畑となり、植木や近郊野菜作りが盛んとなり、鹿児島市の台所として重要な役割を果たしてきています。

吉野東に関することも含まれていますよ！！さぁチャレンジ！！



答えはどこかにあるよ！

〈答え〉



二重マスの文字を各色ごとに並びかえてできる言葉は何でしょう！？

### ヨコのかぎ

- 1 私たちの住む校区名は？
- 6 夏の〇〇は、犬も食わぬ。
- 7 小学2年生の算数でおぼえよう！！
- 8 南九州で端午の節句に作られる季節の和菓子。
- 9 骨折し、〇〇〇2カ月と診断された。
- 10 歯医者さん＝〇〇〇〇
- 12 〇〇〇は一人で抱え込まないで、誰かに打ち明けてみよう！！
- 13 腐肉をあさる動物と言われている。
- 14 ドア〇〇＝ドアを開閉するための取っ手。
- 16 一匹いるだけでもうとうしいですね…
- 17 鬼火焚きとは旧年の災厄を〇〇〇〇〇〇、鹿児島の正月行事です。
- 19 大石（20）の像のある公園は〇〇〇〇〇公園。
- 20 大石〇〇〇〇〇は、吉野で暴れていたキツネを退治しました。
- 21 ♪お正月には タコあげて 〇〇をまわしてあそびましょ～♪

### タテのかぎ

- 1 夜に吹く風。
- 2 吉野東校区にある野外活動や集団宿泊生活ができる施設は、少年〇〇〇〇〇〇
- 3 15〇5＝10（〇に入る記号は？）
- 4 物理〇〇〇〇・政治〇〇〇〇・言語〇〇〇〇
- 5 吉野東校区の〇〇〇〇会社といえば、よしや交通！！
- 8 〇〇してて＝〇〇LOVE YOU
- 10 〇〇が広いとは、物事を見る時に広い範囲を見渡すことができるという意味です。
- 11 寺山公園がある町内会は？
- 12 吉野公園がある町内会は？
- 13 5月の第2日曜日は？
- 15 公園で子どもが好きな遊具の一つ。
- 18 〇〇〇 正しく 美しく
- 19 〇〇に入れば〇〇に従え（ことわざ）



# 町内会紹介

## 01 データで見る町内会

2020.1現在

4,929世帯	小学校 児童数	中学校 生徒数	老人会	青壮年会	女性会	あいご会	パトロール 青パト隊	自主防災会	郷土芸能等 (保護事業対象)
中別府	395	160	長寿会	あきば会	婦人部	あいごPTA	青パト隊	—	—
西菖蒲谷	231	106	老人会	青壮年会	女性部	あいご会	徒歩パト隊	自主防災会	西菖蒲谷棒踊り
東菖蒲谷	243	91	長寿会	青壮年会	女性会	あいご会	—	—	—
上之原	55	30	老人会	青壮年会	婦人会	あいご会	—	—	—
中ノ町	67	36	老人クラブ	青壮年会	女性部	あいご会	青パト隊	自主防災会	中ノ町鉦踊り
七社	56	34	福寿会	壮年会	女性会	あいご会	七社町内会	自主防災会	七社神社ホゼ祭り
吉野台団地	8	3	—	—	—	—	—	—	—
平原	7	1	—	—	—	—	—	—	—

## 02 各町内会の紹介 & 特色

### 中別府

吉野ヶ原の東方に緑色こき秋葉山（中別府町内会応援歌）秋葉の森の小高い丘に中別府公民館があります。公民館のとなりに、私たちの先人が今から240年前の寛政5年に火の神、防火の神様である秋葉神社（石祠）を建立しました。それは遠く静岡県の秋葉山の秋葉神社から勧請したものです。今でも中別府町内会の守り神として7月に夏祭り納涼大会を盛大に開催しています。中別府町内会の地域内には吉野東小学校、吉野東中学校があり住宅地と農地が混在し広い範囲内に現在1,200戸数を越える住宅地に約3,300人の方が居住しています。町内会に居住しているすべての人が協力して住みやすく心豊かな明るい地域として発展できるよう色々な活動を通じて努力しています。

「知り合って ふれあう豊かな心 モットーに」町内会会員の協力で自分たちの住むまちをより良い素晴らしいまちにするために活動している中別府町内会です。



秋葉神社（石祠）

### 西菖蒲谷



菖蒲神社

藩政時代薩摩藩の農村統治機構の一つである方限（ほうぎり※郷中）が吉野村に7カ所ありそのひとつである菖蒲谷の西部が西菖蒲谷であります。鹿児島城下の近郊農村部で農業が盛んであり、現在でも鹿児島市の軟弱野菜（ほうれん草等の青物野菜）の一大供給地となっております。町内会の行事は、天照皇大神を祀ってある菖蒲神社において六月灯や菖蒲神社春祭りを中心に行われております。とりわけ郷土の伝統文化の棒踊りは行事に花を添えており、西菖蒲谷棒踊り保存会により小中学生から育成・伝承が行われ町内一体となった取り組みとなっております。町内会活動の原動力は町内会員であります。生活の多様化等により会員加入率の低さが最大の課題であります。その様な中において青壮年会や老人クラブ活動が盛んで町内会活動活性化の一助となっております。令和2年3月には、町内会グランドと一体となった「西菖蒲谷公民館みらい」が竣工しました。町内会活動の新たな拠点において会員相互親睦、文化、健康、福祉、防災、防犯等の取り組みを町内会員一丸となって展開し、“未来を担う子供たちが自慢できる町内会”を目指しております。

### 東菖蒲谷

江戸時代、薩摩藩の軍馬を養成していた牧場があり、牧地区はその名残の地区名です。また、東菖運動場には、日本で初めて甘藷を栽培した前田利右衛門遺徳の碑があり、年2回神官を招いて、例祭を実施しています。2015年、世界近代化遺産に指定された寺山炭窯跡は、残念ながら2019年夏の豪雨で崩壊しましたが、11月末から復旧復元に向けて土砂を取り除く作業が始まりました。吉野東小学校が開校した頃は、森や畑に囲まれた静かな町内でした。近年は宅地開発が進み、住宅が増え児童数もどんどん増加していますが、町内会への加入率は低く、大きな課題であります。令和という時代になり、町内会の事業も新時代に即した見直しは急務です。地元住民と新住民が共に、伝統行事や新事業に取り組める、活気のある町づくりをめざしています。



寺山炭窯跡

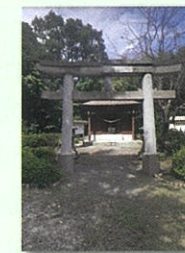
### 上之原

上之原は、安永8年（1779年）の桜島大爆発により、桜島の黒神地区からの避難民のうち7世帯が、桜島を望める上之原に移住したのが始まりといわれております。

上之原町内会は、約220世帯、550人前後と規模は小さいですが、運動会や夏祭り、奉仕作業などにも積極的に参加するまとまりのある町内会です。

上之原地区には、遺跡や西郷さんの開墾地などの史跡も多く、また、寺山展望台は、霧島連山、桜島、開聞岳が眺められ、眼下に錦江湾が広がる絶景ポイントです。

上之原振興会館横の原五社神社では、毎年神社祭や六月灯を開催し、生活改善センターでは、味噌、焼肉のたれ、麺つゆ作りなどが行われています。



原五社神社

### 中ノ町



川上大将  
生立之地

中ノ町は吉野東校区の南部に位置し、中心部にある花倉川は磯海水浴場へと続いています。また市街地に一番近い地区です。町内全体の面積は広くはありませんが、町民は皆人情味あふれ、親切で心の広い方々が多いです。より良い地域社会や中ノ町を築いていくため、他の町内会同士との縦・横のつながりを大事にしています。町内活動の、敬老会、運動会、十五夜、花火大会、ふれあいグランドゴルフなどは中ノ町の大きな行事です。吉野校区行事である町民運動会も町内全員参加を目標に協力しています。青パト隊は、町内はもちろん、校区全体の見守りも行っています。深刻な人口減少は、地域の今とこれからを住民と共に考えていきたいと思えます。しかし子供たちは元気でびのびと育っています。将来中ノ町を担っていく子供達の将来が楽しみです。文化の面では、川上大将の生立ちの地であり、外に七人塚や桃源亭は、私共の自慢の一つです。これからも学校と地域が一体となった教育環境づくりとお年寄りから子供たちまで住み慣れたここ中ノ町で生き生きと安心安全に暮らせる人情味あふれる町であってほしいと思えます。

### 七社

七社の名称は、七社神社（中別府、中ノ町、七社の産土神）から名付けられました。藩制時代の七社地区は花倉・三船まで含まれていましたが明治6年の地租改正時、現在の区域になったようです。平成14年より令和元年9月1日現在では町内会加入世帯は45世帯減少し、高齢化率37%、高齢者のみ世帯は43%に上ります。現在、町内会加入率は75%ですが吉野支所管内では人口増加している中、七社は市の「歩いて廻れるコンパクトな町づくり」構想より外れているため、益々少子高齢化が予想されます。吉野台地の中にあっては湧水に恵まれ、廃田になってはいますが、田んぼも3箇所あり、名残りの田の神さもあります。今でもこんこんと湧き出る2つの井川は杉川（そまがわ）となり下流には落差20m余りの「しぐれの滝」があります。女性会は町内会行事をサポートし、よかよか元気クラブ等で大活躍です。青パト2台は原則、月・金の夕方、吉野東小・中学校の通学路と町内をパトロールしています。自主防災会は年2回の防災訓練を行っています。七社神社のホゼ祭りでは、中別府・中ノ町・七社の3町内会でしめ縄作りを行っています。



七社神社

### 吉野台団地



吉野台第1公園

吉野台団地は、全ての世帯が浄化槽を利用している事により、自治会会員となり、（中ノ町と雀ヶ宮町内会は別として）そのうちの63世帯が町内会会員となり、団地内の清掃や夏祭りや敬老・七草の祝儀、防犯灯の維持管理、福祉・青少年育成活動など、相互の扶助活動をなし、住みよい町・潤いのある町づくりに努めています。特にゴミステーションの管理については、当番を決めて1週間交代で掃除をしていて、衛生的になっております。また、現在は、お互いに気持ちよく生活していけるよう継続しています。今後も、衛生的な環境と、人と人との関わりの中で、独居での生活の方も安心して生活できる団地の維持を目指しています。

### 平原

当団地は昭和50年、教職員互助組合が開発した歴史の浅い団地で、現在37世帯88名ですが、吉野町外からの入居家庭が多い団地です。人口構成は高齢者37人、中学生1人、小学生7人、一般成人43人です。集会所（公民館）はありますが、トイレが無いので集会所での長時間の行事は難しく総会しかできていません。大きな行事は、年1回の総会と、春の花見の会です。花見の会は、団地内の公園で行い、子供から老人までが集いゲーム等をして賑やかに過ごします。学校の夏休み期間中は、雨の日以外毎日、小学生と老人でラジオ体操を実施しています。高齢者の参加は5、6人と少ないですが、小学生は全員毎日元気よく参加しています。最終日には町内会からご褒美をあげています。高齢者の方々のために、毎年敬老会を計画しますが、寝たきり状態、歩くのが不自由、集会所ではトイレが無いなど、個人の体調の問題や町内会の施設・設備の問題、団地外で実施となれば交通の問題などがあり、実施が困難なのが現状です。集会所にトイレと避難設備が欲しいところです。



平原団地公園

# 吉野台地の地形と地質

私たちの暮らす吉野台地は恵み豊かな場所です。その恵みの背景を知るために、足元がどのような地質で成り立っているのかお話ししたいと思います。

## 01 吉野台地の地形と地質

吉野台地は平坦で北東から南西へ緩く傾いています（図1）。北側にある牟礼ヶ岡や赤崩が隆起して、およそ50万年前以降にこのように傾きました。角度は3°ほどです。台地の東側は始良カルデラの壁に相当する険しい崖になっています。この険しい崖はその角度で水深130mほどの鹿児島湾の海底まで続きます。カルデラ壁は、今から約29,000年前の始良カルデラの大噴火の時に火山体が崩壊陥没してできました。皆さんがご存知のシラス（火砕流堆積物）を噴出した噴火です。この険しい崖が出現したおかげで、北ほど古い地層が崖の下部に顔を出します（図2）。大崎ヶ鼻から三船にかけて様々な火山岩が露出していますが、これらの火山岩はおよそ80万年前から50万年前に噴出しました。その後、今の吉野台地付近は海になり、泥や砂など（花倉層）が堆積したのです。ここで先ほど述べた北側の山塊の隆起が始まり、陸域になった地表面に火砕流堆積物が厚く覆いました。この火砕流堆積物は自身の持つ熱と重量で溶け、圧縮されて硬い溶結凝灰岩になりました。厚さは50mを超えます。この溶結凝灰岩の平坦な一枚板が隆起によって傾き、今の吉野台地を出現させたのです（図3）。仙巖園の「千尋巖」と彫られた岩や世界文化遺産に指定された関吉の疎水溝の取り入れ口のある峡谷の岩などはこの溶結凝灰岩です。

吉野台地を作る吉野火砕流の溶結凝灰岩（以後、吉野の溶結凝灰岩）は、加工しやすいことから、江戸時代から鹿児島城の石垣をはじめとする城下町の石材として大量に切り出されました。台地が傾いているために、南ほど低い場所に溶結凝灰岩が分布しています（図3）。そのため城下町を築いた石材は磯から上町付近の地域から切り出されたようです。代表的な石切場が、現在の鼓川町たんたど付近にあったことから、石工さんは「たんたど石」と呼びました。島津斉彬の集成館事業の反射炉の基礎、鉄を溶かすために使われた木炭を作った寺山の炭窯、薩英戦争の砲台が置かれた一丁台場の石垣、さらには西郷隆盛をはじめとする偉人の墓石などに使われました。最近では吉田インター近くの花棚でも切り出され、「花棚石」の名前で売られていました。鹿児島の城下町は吉野の溶結凝灰岩なしには築くことができなかったのです。

## 02 吉野台地の美味しい水

吉野台地を作る吉野の溶結凝灰岩の層が南西に傾いているために、吉野台地に降った雨は地下に浸透して溶結凝灰岩の割れ目の中を低い方へ流れます。下の層は水を通しにくい泥の地層（花倉層）なので、地下水はその泥の層と溶結凝灰岩の境界面を流れ下り、溶結凝灰岩が分布する地域の西縁付近から湧き出しています（図4）。北から南へ七窪、金子、日当平、明ヶ窪、玉里、冷水から湧き出すために、その場所は鹿児島市の水源地になっています。北の赤崩、牟礼ヶ岡の火山岩地帯に降った雨も精木川に沿う断層のおかげで地下へ浸透し、混ざり合います（図4）。鹿児島市の水源地には、吉野の火山岩や火砕流堆積物によって濾過され、ミネラルが溶け込んだおいしい水が集まっています。冷水の湧水は、江戸時代には鹿児島城内や城下町にまで導水されていました。

吉野台地の北東部に寺山の水源があります。西郷南洲翁開墾地の湧水を水道施設にして吉野台地に住む人々に供給したそうです。この水源は吉野台地の北東部の380m付近の高い所にあつて、台地の西縁に並ぶ鹿児島市の水源地の地下水と水脈がまったく異なります。海拔420mの寺山公園から牟礼ヶ岡の南縁までの尾根部に広く分布する玄武岩の山体に降った雨が地下に浸透し、その割れ目からこの水源は湧き出しているのです。玄武岩は吉野の溶結凝灰岩を覆っているもので、50万年以降のもので、この玄武岩は寺山の東方にあった古い火山から流れ出ました。世界文化遺産に登録された寺山炭窯跡の東側にある小さな滝もこの玄武岩に懸かっています。寺山の水源は、水の乏しい吉野台地の表面に貴重な水をもたらしました。

吉野台地と桜島の物語は、またの機会にゆずりたいと思います。

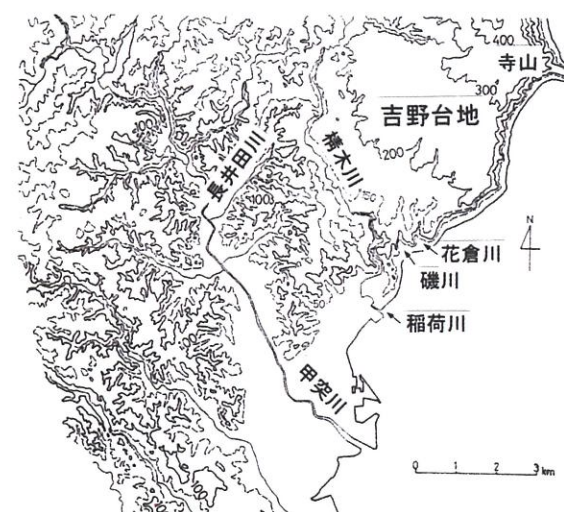


図1. 吉野台地の地形を示しています（等高線の間隔は100mです）

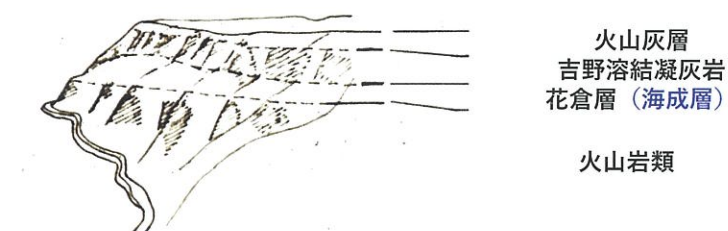
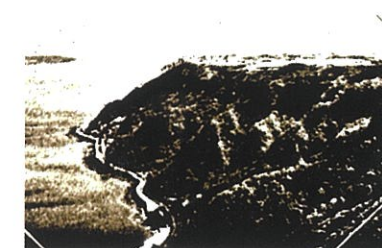


図2. 竜ヶ水付近の地層の重なりです（寺山から南を見えています）

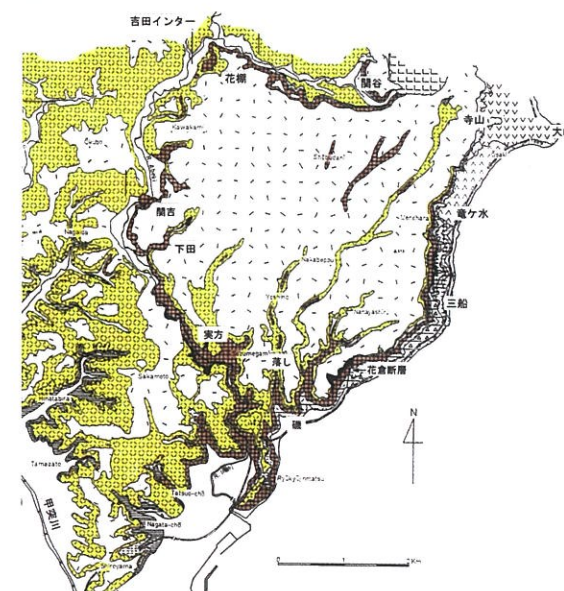


図3. 吉野台地の地質を示した図です（茶色：吉野の溶結凝灰岩です）（黄色：入戸火砕流、いわゆるシラスです）

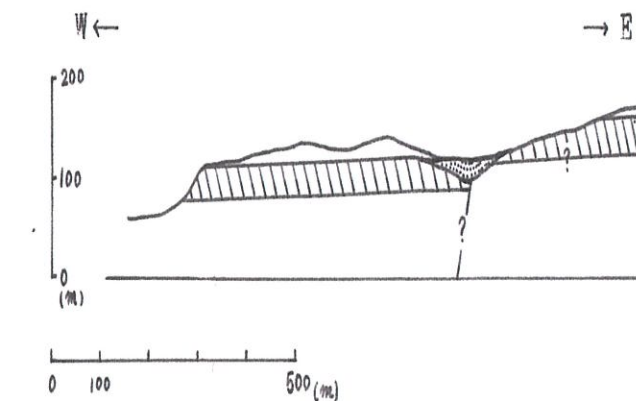


図4. 下田付近を東西方向に切った地下断面です（斜線：吉野火砕流の溶結凝灰岩です）（縦の線が精木川に沿う断層です）

## 01 吉野東の歴史

私たちの住む吉野台地は、約50万年前(北京原人の時代)に起きた火山活動による噴出物「吉野火砕流溶結凝灰岩」の一枚岩が基盤となり、その上に降り積もった色々な火山灰の上で現在生活しています。寺山から下田方面(南西)に約3°傾いており、吉野台地に降った雨は凝灰岩を浸透し、南西の明ヶ窪・日当平・玉里・冷水などで豊富な地下水として湧出する為、吉野台地は昔より水に乏しい台地でした。

それでも私たちの吉野東には、縄文時代の「溜池(西菖蒲谷)・仁田岡遺跡(中別府)・仁田原遺跡(中別府)・白拍子遺跡(中別府)・石郷遺跡(七社)・七社遺跡(七社)・老ノ迫(中ノ町)・島堀(七社)」や弥生時代の「金木崎遺跡(東菖蒲谷)・新牧(上之原)」古墳時代の「金木崎遺跡(東菖蒲谷)・新牧(上之原)・溜池(西菖蒲谷)・石郷遺跡(七社)・川の元遺跡(七社)・中尾遺跡(七社)・七社遺跡(七社)・老ノ迫遺跡(中ノ町)・白井崎遺跡(中ノ町)・雀ヶ宮遺跡(七社)」等が確認されており、奈良・平安・鎌倉時代と往古より延々として人々が生活してきた所です。

私たちの町の身近な所に、それぞれの時代の人々の生活をうかがい知る事の出来る文化財が残されています。これらの文化財は指定・未指定にかかわらず保存・活用し、将来に受け継いでいくことが最も大切なことです。

## 02 吉野東校区の文化財

### 西菖蒲谷 P.12

- ① 関屋谷石塔群
- ② 菖蒲神社・水道碑・稲神社  
23夜待燈籠・戦勝記念碑
- ③ 薬師堂跡・庚申供養塔
- ④ 二里塚前

### 東菖蒲谷 P.12

- ① 老農利右遺徳の碑
- ② 吉野市助の供養塔
- ③ 吉野牧・苙の跡
- ④ 御水ヶ谷水道碑
- ⑤ 寺山炭窯跡

### 七社 P.13

- ① 石郷遺跡
- ② 七社の田の神
- ③ 花倉坂
- ④ 七社遺跡
- ⑤ 七社神社・庚申供養塔
- ⑥ 東の井川・西の井川

### 上之原 P.13

- ① 寺山水道碑
- ② 南洲翁開墾地遺跡碑
- ③ 吉野開墾社の跡
- ④ 吉野開墾地跡
- ⑤ 南洲翁愛馬塚
- ⑥ 吉野寺山の賦の碑
- ⑦ 牛牧の跡
- ⑧ 新牧(唐牧)の跡
- ⑨ 寺山修練場跡碑
- ⑩ 荒神の碑
- ⑪ 原五社神社



南洲翁開墾地遺跡碑

### 中ノ町 P.14

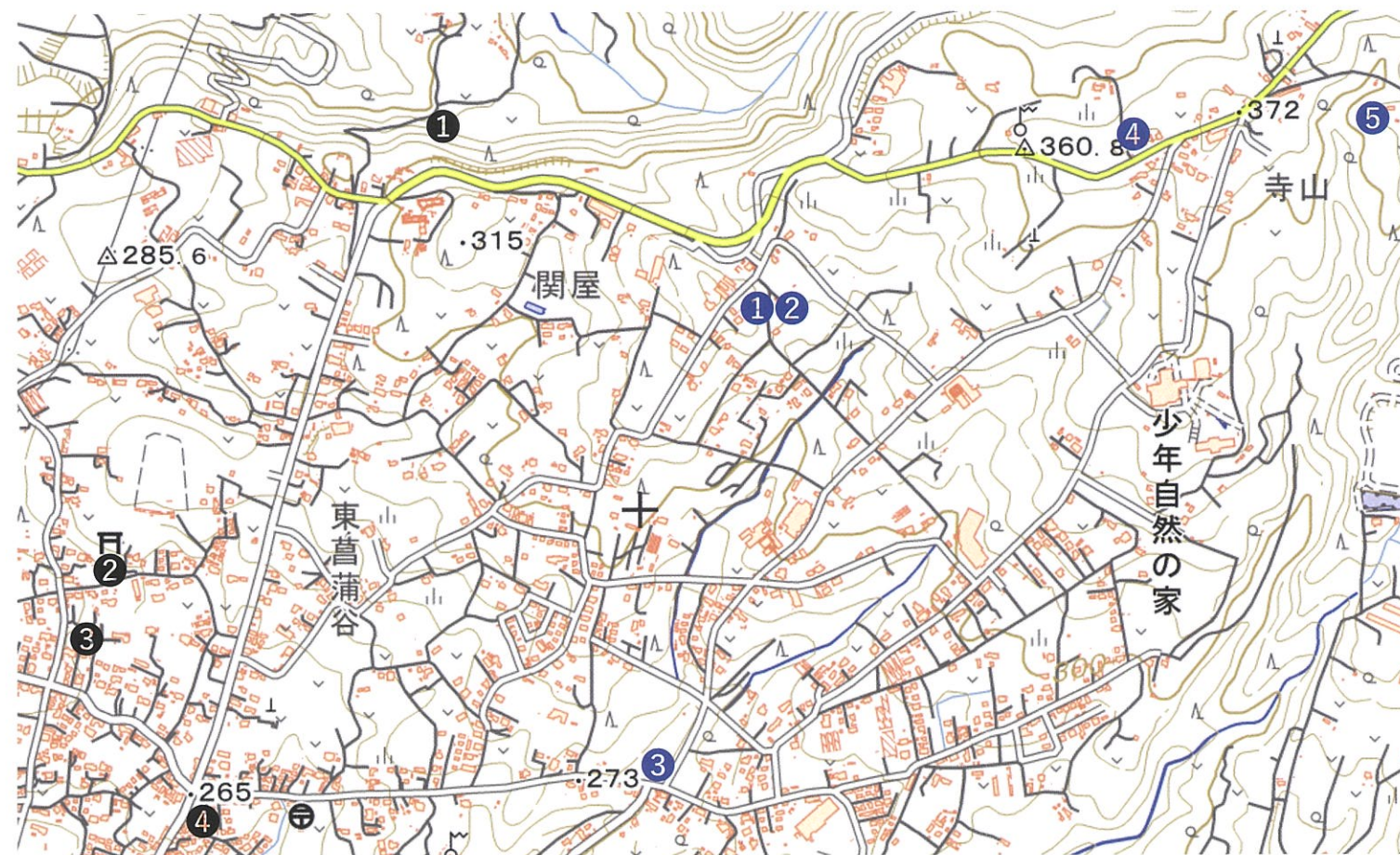
- ① 川上大将誕生之地碑
- ② 川上大将生立之地
- ③ 七人塚
- ④ 桃源亭跡の碑
- ⑤ 迫谷の田の神

### 中別府 P.14

- ① 秋葉神社
- ② 阿弥陀堂の跡
- ③ 吉野開墾社の跡
- ④ 南洲翁飲用の井戸
- ⑤ 藩校聖堂分校の跡
- ⑥ 薩摩義士の墓



地図出典：「国土地理院」



### 西菖蒲谷

#### ① 関屋谷石塔群



関屋谷の石塔群は鹿児島市吉野町と宮之浦町との境、かつての旧東目筋の道路が今も残る関屋谷の関所跡と思われる平坦地の雑木林の近くに復元されています。

この石塔は島津氏が鹿児島を治める以前の平安末期から鎌倉期頃、城の岡を主城とする開拓者たち(豪族・土豪)の逆修供養塔と考えられます。五輪塔は天台密教で大日如来を形で表した物であり、既にこの地まで仏教が伝わっていたことが解ります。

### 東菖蒲谷

#### ③ 吉野牧・苙の跡



《吉野牧馬追図》伊藤凌舎筆『鹿児島風流』より

吉野牧は薩摩藩内で二番目に広い、周囲約28キロの牧場で、最盛期凡そ500頭の馬が放牧されていました。川上氏系図により、慶長年間に11代川上久隅が開設(開牧)したと解ります。

毎年4月に行われる、若駒取り(馬追)『苙ごめ』の行事は盛大で「人を見るなら吉野の牧行け」と言われました。関山商店から吉野東小・中学校にかけて『苙ごめ』が行われました。

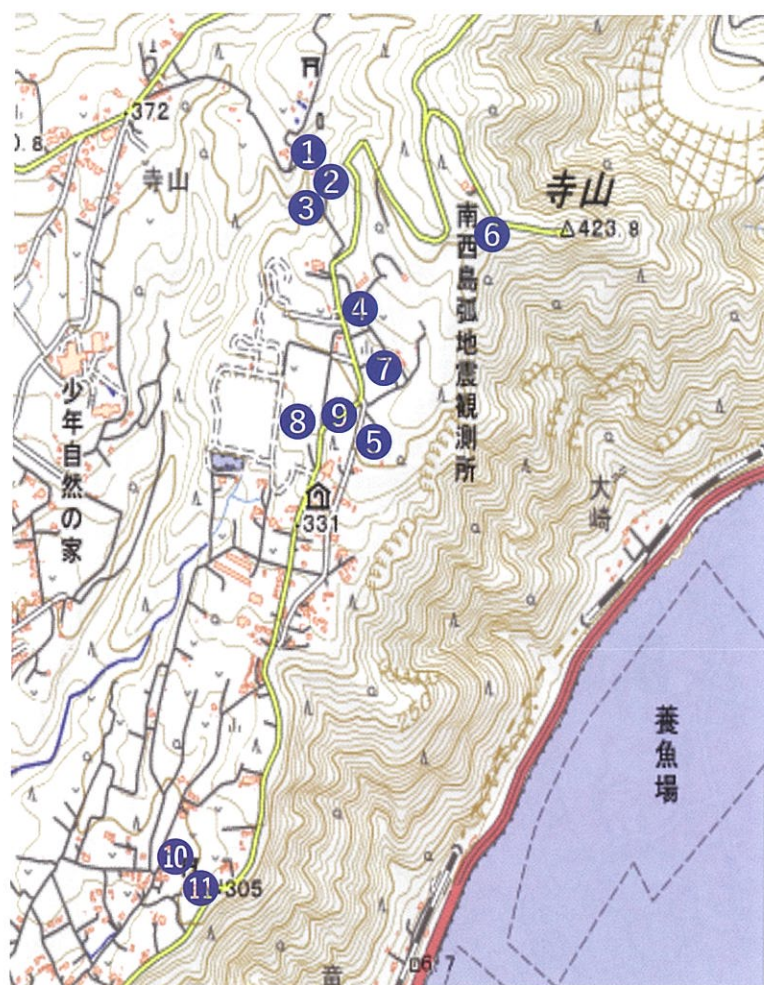


## 七社

こうしんくようとう  
⑤ 庚申供養塔



滋賀県の比叡山に祀られている、日吉神社の分神（上七社）を祀る、七社神社の拝殿右側の石燈籠（笠石に龍が巻きつく）が、庚申供養塔です。庚申講とは平安期頃から行われた、現代様に言う『延命・長寿を願い実行する民間信仰の会』で、この講の万願成就を祈念し作られた卒塔婆が庚申供養塔です。刻まれている銘文により、文化7年（1810）に武士と農民の合同による庚申講が営まれていた事が解ります。

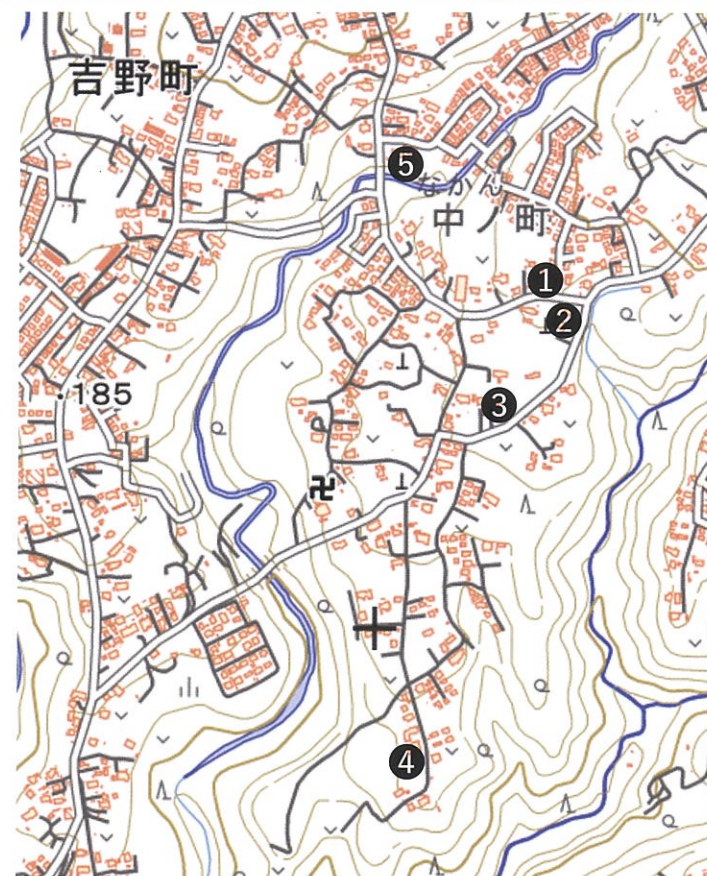


## 上之原

よしのかいこんちあと  
④ 吉野開墾地跡



明治6年11月に鹿児島に帰ってきた西郷隆盛は明治7年6月私学校をつくり、明治8年4月26日吉野寺山に『吉野開墾社』を創立しました。吉野開墾地の面積は、凡そ39町歩（38.61<sup>〃</sup>）の広さで、実際に開墾された面積は、4町歩位でした。唐牧（ペルシャ牧）の上方隣地、北方約2町にして藩政時代に牛を放畜した「牛牧」と称する地が、南洲翁開墾地です。



## 中ノ町

とうげんていあとのひ  
④ 桃源亭跡の碑



布ヶ谷から右に折れ、中ノ町集落の坂路の上り際から南に折れて500<sup>〃</sup>位の地点、眺望のよい畑の中の屋敷が尽きる処に、谷山角太夫の別荘跡があり、その近くに石碑がある。谷山角太夫は、天明・寛政（1783～1800）の頃、藩の要職にあつて、京都・江戸にも在勤し、その傍ら日野大納言資枝卿の門に入り、和歌を学び奥義に通じた。角太夫は歌人として風光明媚のこの地を愛し、吉野の桜・嵐山の楓などを移植し、亭名を日野大納言に請い『桃源亭』と命名した。石碑は漢学者・向井滄波が角太夫の子純贇の代理として建立したものです。



## 中別府

よしのかいこんしゃのあと  
③ 吉野開墾社の跡

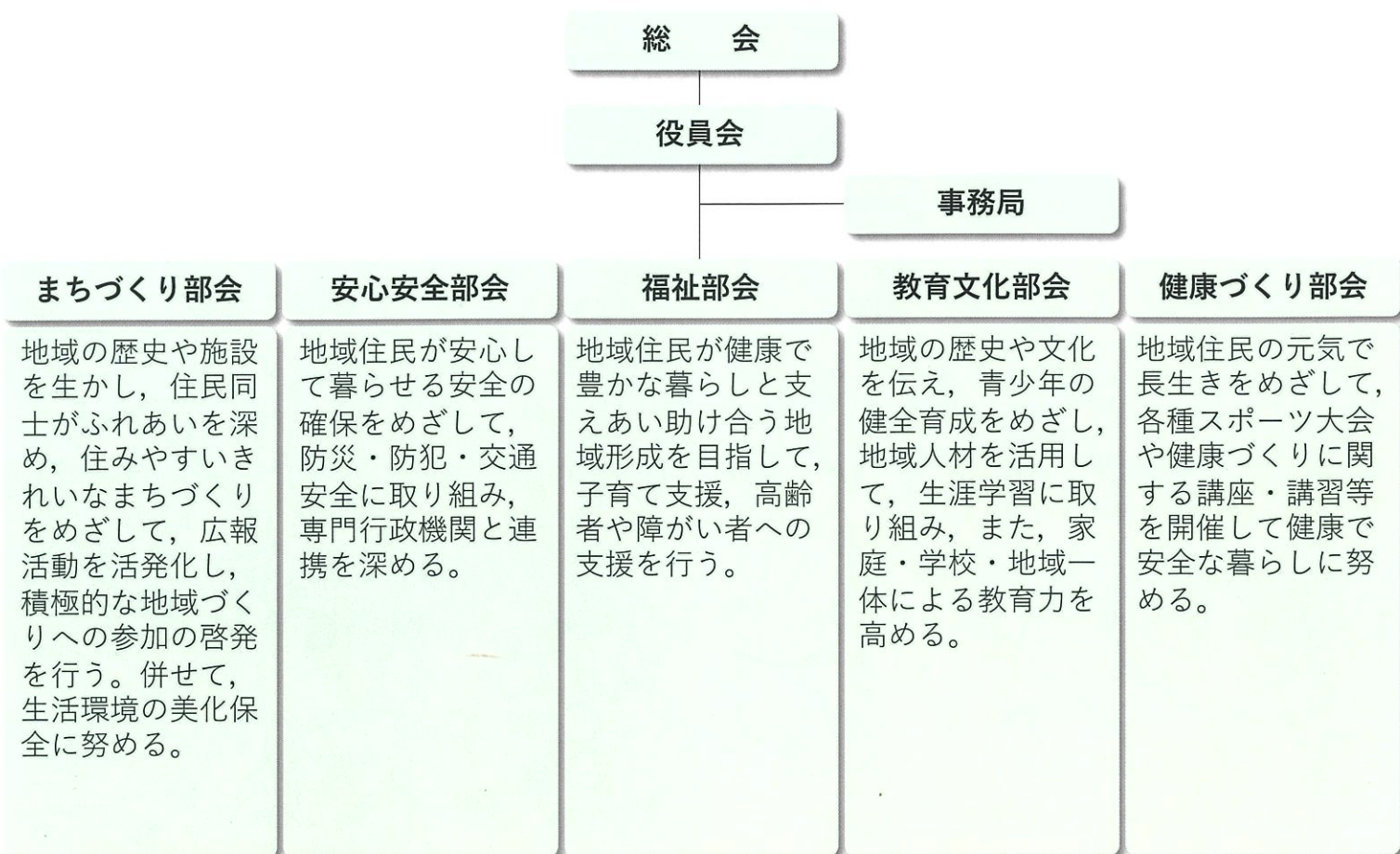


吉野寺山の『吉野開墾社』は明治8年4月26日に創立された。最初の頃の宿舍は当時中別府の五百屋敷と云う所に、鹿児島上町の池田氏の経営に係わる養蚕場の跡が空家となっていた一棟及び付属の農具・馬二頭を西郷さんの自費にて購入し事務所兼宿舍とし、鮫島外35名の人達がここに寄宿して寺山に通い、開墾に従事することになった。しかしこの地は寺山までは半里以上もあり、又飲料水に不便で数町離れた所まで水汲みに行かなければならなかった。そこでこの家を寺山に引き直すことになり、茅葺を瓦葺に改造した。寺山の吉野開墾社の位置は今の記念碑の下段、溪流の辺りです。



# 吉野東まちづくり協議会 組織図

2020.1現在



## 主な行事・活動内容等

吉野東まつり 吉野公民館文化祭  	校区内安全点検 防災, 防犯 交通安全 危険箇所点検  	子育て支援 高齢者支援 障がい者支援  	青少年健全育成大会 歴史, 文化継承 生涯学習等  	山坂連者駅伝大会 グラウンドゴルフ大会  
----------------------------	---	----------------------------------	--	--------------------------------

## 構成団体・有識者等 (敬称略)

各町内会 設立準備委員 設立準備実行委員 吉野東校区あいご会 吉野東小学校PTA 吉野東中学校PTA 仮屋 秀一  	各町内会 吉野東校区あいご会 吉野東小学校 吉野東中学校 吉野東小学校PTA 吉野東中学校PTA スクールガード 吉野東スクールゾーン委員会 吉野東児童クラブ 青パト隊 地域安全モニター 警察少年補導員 通学保護員 吉野東分団 吉野東地区民児協  	各町内会 吉野東児童クラブ 吉野東校区社会福祉協議会 吉野東福祉館 吉野東地区民児協 吉野東老人会 YORIAI(こども食堂) 精松 泰成  	各町内会 吉野東校区あいご会 吉野東小学校 吉野東中学校 吉野東小学校PTA 吉野東中学校PTA 家庭教育学級 おやじの会 吉野東児童クラブ 学校支援ボランティア 吉野東福祉館 吉野史談会 中ノ町鉦踊り保存会 大木 公彦  	各町内会 スポーツ少年団 吉野東小学校 吉野東中学校 スポーツ推進委員 町連協運営委員会  
--	--	--	---	---

# 吉野東まちづくり協議会 構成団体一覧

2020.1現在 (敬称略)

町内会名	氏名 (会長)	小中学校に関わる団体	氏名 (代表者等)
1 東菖蒲谷町内会	仮屋 耕二	1 吉野東小学校	高峯 正一
2 西菖蒲谷町内会	新里 道明	2 吉野東中学校	吉永 敬一郎
3 中別府町内会	吉元 澄也	3 吉野東小学校PTA	本村 宏康
4 上之原町内会	櫻井 道廣	4 吉野東中学校PTA	恵 智徳
5 七社町内会	市来 征二	5 吉野東校区あいご会	仮屋 光一
6 中ノ町町内会	末吉 悟	6 スクールガード	山口 千代
7 吉野台団地町内会	東 佳子	7 吉野東スクールゾーン委員会	濱畑 俊二郎
8 平原町内会	山元 勝一	8 吉野東児童クラブ	床並 守
その他連合団体含む	氏名 (代表者等)	9 青パト隊	中村 邦男
1 地域安全モニター	松元 秀昭	10 家庭教育学級	舞田 知美
2 警察少年補導員	有木 隆則	11 おやじの会	竹中 大輔
3 通学保護員	金丸 亨	12 学校支援ボランティア	川野 正則
4 吉野東分団	救仁郷 康久	13 スポーツ少年団連絡協議会	江藤 公彦
5 吉野東地区民児協	田淵 勝次	吉野東まちづくり協議会役員	氏名
6 吉野東校区社会福祉協議会	櫻井 道廣	1 会長	櫻井 道廣
7 吉野東福祉館	平山 優	2 副会長	高峯 正一
8 吉野東老人会	迫 重孝	3 副会長	長野 俊之
9 YORIAI (こども食堂)	柴原 仰栄	4 事務局長	新里 道明
10 スポーツ推進委員	宮里 哲也	5 まちづくり部会 部会長	市来 征二
11 町連協運営委員会	桜井 浩二	6 まちづくり部会 副部会長	仮屋 光一
12 吉野史談会	中野町 正利	7 安心安全部会 部会長	松崎 達朗
13 中ノ町鉦踊り保存会	園田 護	8 安心安全部会 副部会長	中森 美智也
14 有識者	大木 公彦	9 福祉部会 部会長	田淵 勝次
15 有識者	仮屋 秀一	10 福祉部会 副部会長	山崎 修一
16 保護司	精松 泰成	11 教育文化部会 部会長	末吉 悟
		12 教育文化部会 副部会長	本村 宏康
		13 健康づくり部会 部会長	仮屋 耕二
		14 健康づくり部会 副部会長	江藤 公彦
		15 顧問	吉永 敬一郎
		16 顧問	仮屋 秀一
		17 顧問	内村 稔
		18 顧問	吉元 澄也
		19 監事	赤松 敏一
		20 監事	東 佳子
		21 事務員	大石 涼子
		22 事務員	亀井 洋子

## クロスワードパズル解答

1	ヨ	シ	ノ	ヒ	ガ	シ	タ
6	カ	ゼ	ク	ク	ア	ク	
9	ゼ	ン	チ	シ	カ	イ	シ
12		ノ	ナ	ヤ	ミ		
13	ハ	イ	エ	ナ	ノ	ブ	
16	ハ	エ		ヤ	キ	ハ	ウ
19			ゴ	シ	ヨ	ラ	
20	ヒ	ヨ	ウ	ロ	ク	コ	マ

答え. カシコク ナカヨク タクマシク



## 現 状

## 課 題

### 協議会事務局



町内会の加入者が減っているよ。

校区内の法人へまちづくり協議会の案内がまだできていないよ。

吉野東の素晴らしさがあまりよく知られていない気がするよ。

- ・町内会加入率の低下
- ・校区内法人の未加入
- ・地域資源の幅広い活用が出来ていない

協議会や町内会、団体等が連携して町内会加入運動の促進をしないといけないね。

もっと色々な人や団体に加入してもらえるようにまちづくり協議会のことを広報していこう！

部会どうしがもっと連携して地域の問題を解決していこう！

- ・協議会／町内会／団体等の連携
- ・町内会加入運動の促進
- ・組織構成の充実（地域企業等の加入）



### まちづくり部会



吉野東は、史跡や公園がたくさんあって、自然に恵まれているよ。

宅地開発が急増し、道路の拡張や下水道の整備なども進んできているよ。人が増えて吉野東小はマンモス校になったね。交通量も増えたなあ。

町内会の高齢化が進んで、役員やリーダーを引き受けてくれる人が減って困っているよ。

- ・地元住民が多いが転入者も増えてきている
- ・ゴミの分別方法で分かりづらいところもある
- ・さまざまな地域課題が顕著化してきている

もっと地域の絆を深めていこう！

ゴミの分別や出し方について、正しく知ってもらおう。

地域のために頑張っている人たちがたくさんいるよ。

行政と連携しながら地域コミュニティとして「何ができるか」を考えていこう。

- ・さまざまな観点での地域のきずなづくり
- ・ゴミ出しのマナーアップ
- ・地域の現状と課題をみんなで共有



### 安心安全部会



吉野東は高台にあるから、台風などの自然災害が心配されるね。

急激な人口増加で、交通量が増えただけ、道路整備がおいついていないよね。子ども達の交通事故も心配ね。

高齢者世帯、空き家問題、管理されていない土地も増えてきているね。

- ・自然災害への不安（地震、台風、桜島爆発等）
- ・高齢者や子どもの交通事故など心配
- ・不審者出没など治安への不安

いざ災害がおきたときにみんなが安心安全に避難できるように対策を整えないといけないね。

危険箇所の点検を行って、危険な場所の整備をすすめていこう！

青パト隊と協力して、吉野東の安全を守ろう！

- ・避難場所の作成、防災運動の強化
- ・ガードレール等の整備を要望
- ・青パト隊活動に地域差あり、活躍を町民へ広報



2020 2021 2022 2023 2024

## 事業内容

## 事業効果

### 役員会・部会の充実

- ・役員会、部会会議の充実
- ・町内会加入の啓発活動

- ・連帯感ある地域社会づくり
- ・町内会好取組の拡散

### 地域企業等の加入促進

- ・地域企業等の加入促進

- ・地域が一体となった地域課題解決や情報共有

### 広報誌発行

- ・年2回発行（上期／下期）

- ・各団体等幅広い活動内容のお知らせ及び情報共有

### ホームページ開設

- ・ホームページ開設

- ・地域住民への広報基盤づくり（未加入者対策）

### まちの美化推進

#### ～ クリーンプロジェクト ～

- ・ゴミステーション運営に関する現状と課題の把握
- ・ゴミ出しや環境美化に対する意識啓発

- ・まちの美化に対する意識の向上
- ・ゴミ出しルールの周知とマナーの向上
- ・違反ゴミの減少

### まちの見える化

#### ～ リサーチプロジェクト ～

- ・地域の自然や史跡、各種団体等地域に関する情報収集と整理
- ・地域の現状と課題の把握

- ・各種団体の相互理解と連携強化
- ・地域課題の共有と今後の活動の具体化

### まちの活性化支援

#### ～ アクティブプロジェクト ～

- ・まちの活性化に向けた各種団体との連携や活動の紹介
- ・地域住民が気軽に参加できるまちづくり活動の基盤づくり

- ・地域の魅力や各種団体の認知度向上
- ・「まちづくり」に対する地域住民の理解と参加意識の生成

### 危険箇所点検

- ・スクールゾーン委員会や各町内会と連携し点検

- ・関係機関や行政と連携、危険箇所の改善

### 危険箇所マップ化

- ・危険箇所をマップ化し関係機関や地域への普及

- ・危険箇所の共有により、事前の防災対策の前進

### 高齢者への声かけ

- ・災害前の対策、災害時の避難行動のための声掛け活動の普及

- ・近所高齢者の実情把握と日常的声掛けによる災害時のスムーズな避難行動

### 避難所運営の学習・防災訓練

- ・避難所の機能／運営の学習、防災訓練の継続的な実施

- ・避難所の機能や現状の理解浸透により、運営委員確保及び避難所の円滑な運営

### 子ども110番の家・緊急トイレ

- ・子ども110番の家の適正配置と緊急トイレの確保

- ・子ども登下校時の安心安全の向上

### 青パト隊・防犯パトロール

- ・町内会ごとの青パト隊／防犯パトロールの現状共有化と今後の充実

- ・青パト隊／防犯パトロールの充実とともに、空白地域の改善や重点地域の強化

	現 状	課 題
福 祉 部 会	<p>福祉部会の団体はどれも積極的な特徴ある活動ができていますよ。</p> <p>福祉部会として一体化した活動はまだできていないかな。</p> <p>健康や介護、老後の生活に不安な気持ちになる人が増えているよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体でみると隣近所の付き合いは少なくなっている</li> <li>・健康や介護、老後の生活に不安を抱える人も少なくない</li> </ul>	<p>福祉部会の団体が行っている活動は継続推進していかないといけないね。</p> <p>子どもからお年寄り、障がいを持つ人まで、共通の目標を掲げて活動ができるといいよね。</p> <p>「だれでも、気軽に取り組むことのできる活動」ができるといいよね！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いざと言う時や予期せぬ災害が発生した時の助け合いが心配</li> <li>・要望、意見を把握しながら地域全体で支え合うことも必要</li> <li>・支援の対象が子どもから高齢者、障がいを持つ人まで広範囲</li> </ul>
	<p>教育文化部会の団体はどれも積極的な独自の活動ができていますよ。</p> <p>どの団体がどういう活動をしているのかお互いによりよくわかっていないよ。</p> <p>吉野東校区の成人学級や女性学級が休講している状態だよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習い事や部活などがあり、地域行事への参加が少ない時もある</li> <li>・地域の歴史などを学ぶ機会が少ない</li> <li>・生涯学習の休講(成人学級や女性学級)</li> </ul>	<p>地域一体による教育力を高めるための活動をしていく必要があるよね。</p> <p>みんなが吉野東の歴史や文化に触れられるような行事があるといいね。</p> <p>年間を通してみんなが学べる機会ができたらいいいよね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事開催の内容や運営の工夫が必要</li> <li>・歴史学習は興味を持ってもらう企画考案</li> <li>・生涯学習の新学級生の確保</li> <li>・講座の企画・運営も担えるリーダーや指導者の確保</li> </ul>
	<p>山坂達者駅伝やグラウンドゴルフは吉野東の看板行事だよ。</p> <p>スポーツ系の行事への参加人数は年々減少してきているよ。</p> <p>スポーツ少年団の団員加入も減少傾向にあるよ。</p> <p>町内会に加入している人しか参加できない行事が多いよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事は定着し地域交流が図られている</li> <li>・催し参加人数の減少</li> <li>・スポーツ少年団、団員の減少</li> </ul>	<p>もっと誰でも気軽に参加できる行事が必要だね。</p> <p>運動に加えて、健康をテーマにした新しい取り組みもやっていたらいいね。</p> <p>少年団をもっと盛り上げていきたいなあ。</p> <p>校区の誰もが参加できるようにやり方を見直していかないといけないね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが気軽に参加でき楽しめる事業にしたい</li> <li>・健康づくりをキーワードに新しい事業の検討も</li> <li>・健全育成の大切さをもっと知ってもらいたい</li> </ul>

2020	2021	2022	2023	2024	事業内容	事業効果	
					ふれあいカーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアカーリングの普及、及び活動推進、実技研修(町内会/あいご会/学校/福祉施設)</li> <li>・フロアカーリング大会の実施</li> <li>・子ども食堂の支援活動</li> <li>・福祉活動に関する研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、高齢者、障がい者だれもが気軽にでき、健康づくりに繋がる</li> <li>・施設のホール、公民館等で活動できる</li> <li>・天候の影響なし</li> <li>・にぎわいづくり、子育て支援</li> </ul>
					競技普及		
					大会実施		
					青少年健全育成大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う地域の青少年の健全育成</li> <li>・家庭/学校/地域が連携し具体的な活動の宣言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成重要性の理解浸透</li> <li>・校区民が健全育成に深い関心を寄せ実態の把握、問題解決の方策を探り、連携した活動の推進</li> </ul>
					社会学級の開講	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学級/女性学級の2学級を開講、生涯学習環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活上様々な課題を学習し、知識を身につけ共に教養を高め、その成果を日常生活に生かす</li> <li>・活気ある地域づくり</li> <li>・生涯学習を通して校区の仲間づくり</li> </ul>
					校区ウォーキング		
					吉野東地元学検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史/文化/自然に関する校区ウォーキングの実施</li> <li>・吉野東地元学検定の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の偉大な文化遺産や文化財/自然について学習し歴史や自然に興味を持つ</li> <li>・ふるさとに誇りと愛着を持つ</li> </ul>
					検定本作成		
					スポーツ少年団のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年団員募集のサポート</li> <li>・地域行事への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年団員の増加</li> <li>・地域全体で子どもを健全に育てる環境ができる</li> </ul>
					グラウンドゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女別/町内会対抗各町内会より2チームまで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康維持、親睦交流</li> </ul>
					山坂達者駅伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高生、青壮年、高齢者オール世代で町内会対抗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女/小学生から青壮年/高齢者が心でつながり健康リレー</li> </ul>
					野菜づくり・米づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休畑、田、農業従事者の指導を受けて野菜/米づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちと土に触れながら作る喜びと収穫を楽しむ</li> </ul>
					健康料理教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体に良い食材を使って子どもから大人まで健康料理を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べる喜び、作る喜び、健康食材による健康づくり</li> </ul>

# 住民インタビュー

吉野東で活躍中のみなさんに聞いてみました

祥徳寺副住職  
YORIAI  
(子ども食堂)



柴原 仰栄さん  
Shibahara Gyoei

昭和56年生まれ。吉野東小を卒業後、れいめい中高、立命館大学へ進学。大阪で大手人材系の企業に就職し、28歳の時に実家を継ぐために吉野東へUターン。現在は祥徳寺副住職として中ノ町在住。「かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク」の事務局長。2児の父。

現在どのような活動をされているのか教えてください。

祥徳寺の副住職を本業としながら、YORIAIと祥徳寺の協働で子ども食堂の運営をしています。臨床宗教師の勉強のために東北大学大学院にも通っています。また、中ノ町の消防団や青壮年会にも加入しています。

子ども食堂を始められたきっかけは？

タイヨーにひとりで子供を連れて買い物に行ったときに、想像以上に大変で、世のお母さん方はいつもこんなことをしているのか・・・と、お母さんたちがほっとする瞬間を作りたいと思ったんです。



吉野東に戻ってきてみてどうですか？

吉野東で育ちましたが、中学から地元を離れてしまったために、地元に関わることができていませんでした。今は、子ども食堂の運営を通じて、地域の方とのつながりができてとても嬉しいです。

今後はどのような活動をしていきたいですか？

祥徳寺の子ども食堂はおかげさまで3年目を迎えます。これからも継続して、お母さんたちの憩いの場になれるようにコツコツ頑張っていきたいと思えます。それと平行して、新しいことにもチャレンジしていきます！

柴原さんってこんな方！

最近、祥徳寺には外国人観光客が多く、韓国では電子マネーがスタンダードとなっているという情報を得るやいなや、即電子マネーPayPayを導入された柴原さん。伝統的なお寺という世界に、いち早くトレンドを取り入れて、新たな視点で活動を展開していっています。また、母校の中高生のためのキャリア研修でも弁をとられるなど、幅広くご活躍です。

吉野東小PTA  
S部 副部長  
イラストレーター



川畑 加奈恵さん  
Kawabata Kanae

昭和52生まれ。奄美で生まれ2歳の頃から吉野東在住。東高校美術部でイラストに目覚める。鹿短で児童文学を学び、南日本新聞オセモコや児童文学誌のイラスト執筆などを手掛ける。現在は東小でPTA役員としてS部の広報を牽引。中別府在住。4児の母。

イラストに目覚めたきっかけは？

高校時代、美術部で油絵を学んでいました。家でも気軽に描きたいなあと思った時に、パステル画にはまってしまい、それからです。先生や先輩にも恵まれて、絵を描くことが楽しくてたまらない高校時代でした。

とても素敵なイラストですね！  
現在どのような活動をされているのですか？

今は、東小PTAのS部の副部長をしています。(S部のSは、Special, SUKI等の頭文字をとって、自分の得意なことや好きなことを活かして活動する専門部です。) Higashiマルシェのポスターを描いたり、PTA新聞を作ったりしています。以前、仕事では、お菓子のパッケージデザインをしたりもしていました。



ずっと吉野東在住ですか？

実家は中別府ですが、結婚してから主人の転勤で吉野東を離れていた期間はあります。でも、帰省した時に、主人が中別府のあきば会にはまってしまって(笑)中別府に家を建てました。ちなみに主人は種子島出身です。

町内会でも大活躍と伺いましたが！

中別府大運動会の仮装行列では、優勝目指して、数回かわらせていただきました！！毎年ワイワイ楽しみながら班のみなさんと準備をしたりして、とても面白いですよ。

川畑さんってこんな方！

おっくうがられやすい地域や学校の活動に面白みを見出しながら、とことん楽しんでおられる川畑さん。4人の子育てをしながら、町内会の班長、あいご会の班長、幼稚園の母の会会長、小学校のPTA役員なども歴任されて、穏やかさの中にもパワフルな一面を感じました。P3の地図は川畑さんの力作です。今後は、特技のイラストを通して、もっと幅広く社会に貢献していきたいとお話しされていました。

鹿児島市消防局  
高度救助隊  
スーパーレスキュー  
かごしま



中野町 毅さん  
Nakanomachi Tsuyoshi

平成5年生まれ。吉野東小中を卒業後、松陽高校へ進学し、陸上部で活躍。卒業後は鹿児島市消防局に入局。現在は消防の精鋭部隊でもある高度救助隊(スーパーレスキューかごしま)に所属し、鹿児島だけでなく日本全国の災害支援に貢献。平原在住。2児の父。

消防局に入局したきっかけは？

人を助ける仕事に就きたいと思ったからです。

高度救助隊について教えてください。

鹿児島市には42名の救助隊員がいて、その中で14名が高度救助隊(スーパーレスキュー)として待機しています。県内だけでなく、県外で災害が起こった時も、要請があれば即駆けつけて、救助活動にあたります。

普段はどのような業務をしているのですか？

天保山にある中央消防署に勤務しています。普段は訓練が主な業務です。

新栄町に訓練施設があって、例えば、事故車から救助する訓練などを行っています。先日は、寺山の山奥で救助訓練を行いました。海の訓練は錦江湾(ドルフィンポートの辺り)でやっています。見かけたら声をかけてくださいね(笑)。訓練以外では、消防設備の点検や子どもの消防教室も大切な業務です。



今後はどのような活動をしていきたいですか？

国際救助隊に選ばれて、世界中の災害支援に携わりたいです。国外で災害が起きたときに、救助活動ができるのが国際救助隊員です。まだ鹿児島では6人しかいないんですよ。なれるように頑張ります。

中野町さんってこんな方！

人を助ける仕事が好きという強い使命感をお持ちの中野町さん。高い所とか怖くないですか？とお聞きしたところ「それほど怖くないですよ」と笑顔で答えてくださったのがとても印象的でした。自分のやりたいこと、目指すところがはっきり見えておられて、そこに突き進んでおられる姿は、すごい一言です。誘ってもらえたら地域の運動会にも出ますよ(選手として)！と頼もしいお言葉もいただきました。

応急手当普及員  
鹿児島市女性消防団



田畑 千鶴さん  
Tabata Chizuru

昭和46年生まれ。吉野東小中を卒業後、鳳凰高校へ進学。福岡で保育士をした後、吉野東へUターン。営業の仕事しながら子育てや地域活動にも貢献。現在は、鹿児島市女性消防団に所属し、応急手当普及員としても活躍中。西菖蒲谷在住。1児の母。

女性消防団に入られたきっかけは？

中学校のPTAで普通救命講習会を受けたことがきっかけで、上級の救命講習も受講しました。さらに、普通救命講習会を指導できる「応急手当普及員」の資格を取得しました。自分だけではなく、たくさんの方が知っていれば救える命が増える！と思ったからです。その活動をしている中で女性消防団にも誘われ、自分自身のスキルアップのために入団しました。

どのような活動をしているのですか？

応急手当普及員として普通救命講習の講師をしています。女性消防団では、幼児やお年寄り向けに救命や防災の大切さを伝える内容の寸劇を披露したりと楽しく活動をしています。お年寄り向けの鹿児島弁バージョンは、一度見て頂きたいぐらいの好作品です。

活動の中で工夫されていることはありますか？

普通救命講習会では、いざという時に命を守れるように、印象に残るような体験型の講習をするように心がけています。

例えば「心臓は365日24時間止まらず動いているので、動いているはずの心臓の代わりに貴方の手です。だから絶え間なく行うんですよ！」というように具体的に重要性をイメージしてもらえるように声かけをしています。



今後はどのような活動をしていきたいですか？

応急手当普及員の活動は、私のライフワークです。私自身、もっとたくさんの方を学んで、世の中の人のために役立つような活動をしていきたいと思っています。次は、避難所運営の勉強をしていきたいです。

田畑さんってこんな方！

命の守り方をみんなに教えたい！という思いから、幅広く活動していられる田畑さん。その強い信念の源は、理屈抜きの純粋な使命感からきているんだなとお話を通して感じました。とても勉強熱心で、自分の軸をもっておられる素敵な女性です。

## 編集後記

この度たくさんの方々のご協力をいただき「吉野東が大好きだプラン（コミュニティプラン）」を発行できましたことを実行委員一同たいへんうれしく思っております。

発行にあたりましては地質学専門の鹿児島大学名誉教授 大木 公彦先生（東菖蒲谷町内会在住）に「吉野台地の地形と地質」を、歴史家の中野町 正利様（平原町内会在住）に「文化財の紹介」をご寄稿いただきました。また吉野東校区在住の4名の皆様に住民インタビューにご協力いただき、川畑 加奈恵様（中別府町内会在住）には吉野東校区の地図作成にも携わっていただきました。快くお引き受けいただいたことにこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

この誌面を作成する上でコンセプトとして掲げたのが「見やすさ」「分かりやすさ」です。子どもから大人まで楽しんで見ていただける誌面づくりを心がけました。また「吉野東が大好きだプラン」というプラン名にはできるだけ多くの住民の方々に見てもらいたい、吉野東をもっと好きになってもらいたいという思いから他の地域とは一線を画すプラン名にしました。

各部会の5ヵ年計画では、地域のみなさまが主体となって参加していただけるよう工夫や趣向をこらし取り組みを分かりやすくまとめてあります。是非みなさまのお手元に保管しご活用いただければ幸いです。

住民インタビューもこの誌面の見どころの一つです。今回ご協力いただいた皆様は、それぞれの目標をお持ちで人の役に立つことやボランティア活動をされています。ふとしたきっかけや人との出会い、繋がりが人を成長させます。まさに吉野東は人材の宝庫だと改めて感じました。

今後このプランをさらに実のあるものにしていくためには地域のみなさまのご協力が必要不可欠です。今後とも吉野東校区のまちづくりにご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

プラン策定委員会実行委員長 松元 大生  
プラン策定委員会実行副委員長 村田 浩一

吉野東まちづくり協議会へのご意見、ご要望をお聞かせください。  
今後のまちづくりに役立てていきます。  
QRコードよりお問い合わせフォームへアクセスできます。



〒892-0871  
鹿児島県鹿児島市吉野町5968-1 吉野東小学校内 吉野東校区公民館1F  
吉野東まちづくり協議会事務局  
TEL/FAX：099-800-1510  
メールアドレス：yoshino.higashi.machi@gmail.com